

児童朝会 校長の話 3月4日

この写真の動物の剥製は、国立科学博物館に「山犬の一種」として保管されていたのですが、最近、山犬ではなくて100年前に日本で絶滅してしまった「ニホンオオカミ」の可能性がとても高いということが分かりました。このニホ



ンオオカミは、100年以上前に上野動物園で飼われていたのではないかとわかりました。この発見をしたのは実は都内に住む中学1年生の小森日菜子さんです。



小森さんは4年前の小学校4年生の時に、つくば市で行われた国立科学博物館の収蔵庫特別公開イベントに参加しました。その時に「山犬の一種」として展示してあるこの剥製が「ニホンオオカミ」ではない

かと気が付きました。小森さんは小学校2年生のときにニホンオオカミに興味を持ち、剥製を観察に出かけたり、図鑑や学術書を読んで勉強したりしていました。気付いた小森さんは専門家に相談しながらこのことをレポートにまとめて、発表しました。するとこのレポートはコンクールで文部科学大臣賞を受賞



しました。相談していた専門家から、学術論文にまとめて世に残して欲しいと言われ、研究チームを作って論文にまとめることにしました。それから2年間かけて分析したり調査したりして、ついに論文を発表しました。審査も受けて、国立科学博物館の電子ジャーナルに掲載されてました。小学校2年生の時に興味をもって調べたことがきっかけとなって、大きな発見をし、世の中に残る研究となりました。興味を持って調べていくことって素晴らしい

ですね。

さて、台東区より健康努力児童が6年生2名表彰を受けましたので、この後皆さんの前で表彰します。日頃から健康な生活を心がけよく努力し、6年間健康に過ごしてきた人です。

けんこうとは？

★からだがげんき

★こころがいきいき

★しゃかいとつながる

ところで、「健康」とはどんなことを言うのでしょうか。世界保健機構では3つの面があると言っています。1つは「肉体的健康」体が元気であるとのことです。病気にかからず毎日元気に過ごすこと

ができることです。次は「精神的健康」心が生き生きしている状態です。やる気があって明るい気持ちで過ごせることです。最後は「社会的健康」です。一人で閉じこもっていないで、人や社会とつながっていることです。つながっているからこそ、体や心の健康が活かされていくんだと思います。

これから2人の6年生に作文を読んでもらいますので、どのようにして健康を保つ努力をしてきたのか、聞いてみましょう。